七戸町役場新庁舎オフィス環境整備業務委託公募型プロポーザル評価要領

1 評価要領の位置づけ

本評価要領は、「七戸町役場新庁舎オフィス環境整備業務委託公募型プロポーザル実施要領」（以下「実施要領」という。）に基づき、評価点の算出方法及び最優秀提案者（優先交渉権者）の選定方法等を示すものである。

2 評価方法及び優先交渉権者の選定

(1) 本評価要領に基づいて一次審査（書類審査）及び二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）を行い、七戸町役場新庁舎建設基本設計・実施設計業務委託及び七戸町役場新庁舎オフィス環境整備業務委託プロポーザル審査委員会（以下「委員会」という。）の審議により最優秀提案者（優先交渉権者）1 者、次点提案者（次点者）1 者を選定する。なお、審査について企画提案者が特定される事項は伏せて実施するものとする。

なお、参加者が 5 者以内であった場合は、一次審査のうち次項(2)のイの審査を省略し、参加資格を満たしている全ての者を二次審査対象とする場合もある。

(2) 一次審査は、本評価要領に基づき次のとおり採点を行う。

ア 事務局が採点するもの

①事業所の実績評価、②業務金額（参考見積書）

イ 審査委員が採点するもの

③業務実施方針・業務工程、④企画提案

(3) 一次審査の評価は、事務局が採点する①事業所の実績、②業務金額（参考見積書）の評価点の計に審査委員が採点する③業務実施方針・業務工程、④企画提案の評価点の計を加算した合計の評価点により、上位 5 者程度を二次審査の参加者として選定する。

(4) 二次審査のプレゼンテーション及びヒアリング（以下「プレゼン」という。）は、本評価要領に基づき審査委員が各自採点を行う。なお、プレゼンは非公開で実施する。

(5) 二次審査の評価は、二次審査の評価点に一次審査の評価点を加算した総評価点を算出する。

(6) 委員会は、総評価点が最も高い者を最優秀提案者に、次に総評価点が高い者を次点提案者に選定する。なお、最高総評価点が同点の場合は、二次審査の評価点が高い者を最優秀提案者とする。ただし、二次審査の評価点も同じ場合は、委員会の判断により選定する。

(7) 参加者が 5 者以内により一次審査を省略した場合の評価基準については、一次審査の審査項目であった事務局が採点する①事業所の実績、②業務金額（参考見積書）の評価点の計に二次審査の評価点を加算した総評価点により最優秀提案者及び次点提案者を決定する。なお、最高総評価点が同点の場合は、委員会にて判断し、最優秀提案者及び次点提案者を決定する。

(8) 総評価点が 6 割に満たない場合は、最優秀提案者及び次点提案者に選定しない。

(9) 評価点は次表のとおりとする。

項目	評価配点		備考
	通常	一次審査省略の場合	
一次審査	340 点	—	①50 点+②15 点+ (③・④)25 点×委員 11 名)
二次審査	1,100 点	1,165 点	①50 点+②15 点+ (⑤)100 点×委員 11 名)
合計	1,440 点	1,165 点	

3 一次審査の審査項目と配点基準

一次審査の審査内容及び配点基準の詳細は以下のとおりとする。

①実績評価【50点】(様式第3号)

評価項目	判断基準	配点
受注実績		
平成27年4月1日以降に契約され完了した、国又は地方公共団体発注の庁舎に係るオフィス環境整備業務（現状調査、レイアウト計画、什器備品整備計画、移転計画）のうち業務対象面積が4,800㎡以上の実績を有していること。なお、建築設計業務の中で実施しているオフィス環境整備業務の下請実績も対象とする。 (実施要領 3 参加資格要件(9)、(10))	5件	50点
	4件	40点
	3件	30点
	2件	20点
	1件	10点

②業務金額評価【15点】(様式第7号)

参考見積書に基づき、次の式により評価点を算出する。この式において、提案見積金額とは見積書に記載された金額とする。なお、算出した評価点に端数が生じる場合は、少数第2位を四捨五入する。

ただし、提案見積金額が実施要領2業務概要、(4)提案上限額の70パーセント未満の場合、評価対象外とし、0点とする。

$$\text{評価点} = 15 \times (\text{最低見積金額} / \text{提案見積金額})$$

③業務実施方針・業務工程、④企画提案【275点(25点×委員11名)】

評価項目	評価対象	評価基準(着目点)	評価配点
業務実施方針	実施方針、取組体制	本業務の目的に即した方針となっているか、適切な業務実施体制、技術者が配置されているか	5点
業務工程	工程表等	工程及び工程内容が事業内容を理解したうえで適切に設定されているか	5点
企画提案	【テーマ1】 窓口空間	来庁者にとって、分かりやすく、利用しやすい窓口空間への考え方が提案されているか	5点
	【テーマ2】 執務空間	職員にとって、快適で機能的な執務空間への考え方が提案されているか	5点
	【テーマ3】 独自提案	本業務を進めるうえで、効果的、効率的な独自提案等があるか	5点
合 計			25点

4 二次審査の審査項目と配点基準

二次審査の審査項目及び配点基準の詳細は以下のとおりとする。

⑤業務実施方針・業務工程、企画提案、プレゼン【1,100点(100点×委員11名)】

評価項目	評価対象	評価基準(着目点)	評価配点
企画提案等	業務の実施方針	本業務の目的に即した方針となっているか、適切な業務実施体制、技術者が配置されているか	5点
	業務工程	工程及び工程内容が事業内容を理解したうえで適切に設定されているか	5点

	【テーマ1】 窓口空間	来庁者にとって、分かりやすく、利用しやすい窓口空間への考え方が提案されているか	10点
	【テーマ2】 執務空間	職員にとって、快適で機能的な執務空間への考え方が提案されているか	10点
	【テーマ3】 独自提案	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務を遂行するうえで、効果的、効率的な方法などの提案があるか ・本業務を進めるにあたり、建設設計業務受注者と円滑に協議、調整するための工夫がなされているか 	20点
	プレゼン	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務に対する理解度や取組意欲はどうか ・説明がわかりやすいか ・質問への回答が明確で適切であるか 	50点
合 計			100点

5 評価水準

一次審査及び二次審査における企画提案書等の評価は、次の判断基準に基づき行う。なお、選定委員1人の持ち点を決め、各評価対象の評価配点に次表の評価比率を乗じた点数をもって採点する。

評価	判断基準	評価比率
A	特に優れている	配点×1.0
B	優れている	配点×0.8
C	標準	配点×0.6
D	やや劣る	配点×0.4
E	劣る	配点×0.2
F	評価内容を満たしていない	配点×0